

令和8年度 教育行政方針

令和8年3月定例会で、野口教育長が教育行政方針を表明し、新年度の主要な教育施策を説明しました。教育行政方針の概要を、第4期越谷市教育振興基本計画の基本目標ごとに紹介します。



令和7年8月、本市に所在する叡明高等学校の野球部が第107回全国高等学校野球選手権大会に初出場されました。甲子園の夢の舞台に立った選手の皆様の努力はもちろんのこと、共に厳しい練習を重ねられた仲間や日々の生活をサポートし精神的な支えとなってくれた家族、同じ夢を共有し球場まで駆けつけた多くの応援者など、さまざまな人の支えがあってこそ成し遂げられた快挙であると思います。チームスローガンとして掲げられている「物事の本質を捉えよ」は、教育においても大切な視点であり、学びに対して主体的に向き合い、自らの考え方とその根拠を持ち、人生や社会の在り方と結び付けて深く理解することは、これからの時代を豊かに生きていくうえで非常に重要であります。

一方で、今日の教育を取り巻く環境は、少子高齢化・人口減少、急速なグローバル化、地球規模での環境問題、こどもの貧困、地域とのつ

ながりの希薄化といった課題に加え、頻発化・激甚化する自然災害や国際情勢の不安定化など、将来の予測がさらに困難な時代となっています。

このような社会状況の変化やこれまでの施策の検証を踏まえ、教育委員会では令和8年度からスタートする「第4期越谷市教育振興基本計画」を策定しております。第4期計画では、教育行政を総合的かつ計画的に推進するため、引き続き「生涯学習社会の実現をめざして」を基本理念とし、誰もが夢や希望、目標を持って自己を磨き続けることができるよう、「生きる力」の基盤を育むとともに生涯にわたり学んだ成果を地域社会に還元できるような「循環型生涯学習社会」の実現を目指し、学校教育、生涯学習および生涯スポーツの3つの分野でそれぞれ基本目標を掲げ、教育施策の一層の充実に努めてまいります。

《中略》第4期越谷市教育振興基本計画の基本目標ごとの主な施策については下記概要を参照

予測困難な社会環境の変化の中、誰もが力強く、心豊かに、幸福や生きがいを感じながら生きていくためには、主体的に行動できる力や多様な人々と協働する力、自ら未来を切り拓くことのできる力を身に付けることが重要です。これには、学校・家庭・地域などが相互に連携しながら調和的・一体的に社会全体で取り組みを進め、生涯にわたり誰もが学び続けることができる環境を整備していく必要があります。教育委員会といたしましても、引き続き「生涯学習社会の実現をめざして」という基本理念のもと、さまざまな教育施策を総合的かつ計画的に推進してまいります。

教育行政方針の全文はこちら(☎114751)

第4期 越谷市教育振興基本計画の基本目標

基本目標1 生きる力を育む学校教育を推進する

未来を担っていく子どもたちが、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう、「9年間を見通した越谷教育を推進する」「確かな学力を育む」「豊かな心を育む」「健やかな体を育む」「自立する力を育む」「質の高い教育環境を整備する」を掲げ、学校教育を推進します。

主な事業

- (仮称)蒲生学園の開校に向け校舎を整備
- 特別支援学級を新設・増設し、通級指導教室を適切に配置
- 休日の部活動地域展開に向けたモデル事業を実施
- 「越谷市学校給食施設整備基本計画」の策定に向け、施設規模や整備手法等の調査を実施
- 今後の小中学校の適正規模や適正配置等について調査・審議を実施



休日の部活動地域展開に向けたモデル事業

基本目標2 生涯にわたる学びを充実し、地域文化を振興する

こどもから高齢者まで、幅広い世代が生涯にわたって自らの能力を高めることができるよう、「生涯にわたる学びを進める」「文化活動を充実し、郷土の歴史を継承する」を掲げ、生涯学習の充実と地域文化の振興に取り組めます。

主な事業

- 在宅等により参加可能なオンライン講座を開催
- こしがや新能や能楽体験事業を開催
- 指定文化財所有者への支援を実施



能楽体験事業

基本目標3 生涯にわたりスポーツ・レクリエーションに親しめる環境をつくる

市民の生きがいづくりや健康の維持・向上を図るため、「健康ライフスタイルづくりを支援する」「スポーツ・レクリエーション活動を支援する」を掲げ、生涯にわたりスポーツ・レクリエーションに親しめる環境づくりに取り組めます。

主な事業

- インクルーシブスポーツの普及に向けたモルック等の体験会や大会を開催
- 北体育館の建物耐震化改修やエアコン設置に向けた工事設計を実施



モルック大会